物産寶庫イロハ総目録　全

A 00
5765

東京大学総合図書館

No. 2
A00 5765
B 45222

物産寶庫中ニ編入スル諸説雜記等日ニ月ニ編纂スルヤ其數擧テ算スヘカラス現今冊數合セテ廿八巻ニ及ヘリ故ニ捜索ノ際徒ニ時間ヲ費スヿ不尠是ヲ以テ檢閲ノ便利ヲ謀リ茲ニ國字名總目録ヲ記スルヿ如左

明治十二年十二月十日

東京帝國大學圖書
男爵田中美津男氏寄贈 先代田中芳男男旧藏書 昭和七年

イ

イノ部

イロハモミヂ	三十七ノ六十八
イハツバキ	二十ノ二十五
イバラモ（トリゲモ）	三ノ三
イバラモ	三ノ二
イバラモ	
イハヤナギ	二十七ノ四十三
イハヒゲ	二十七ノ七十四
イホタ	二十七ノ十六
膽保タタ膏ノ説（イホタカウノセツ）	十八ノ三十二
㊀イボクサ	三ノ五
伊藤信夫ヨリ塩田真ヘ書翰（イトウシノフヨリシホタシンヘショカン）	十四ノ十三
伊藤翁ナニシヤモンジヤ蔻（イトウヲウ…コク）	二十五ノ五
伊藤圭介石綿之説（イトウケイスケセキメンノセツ）	十二ノ五
イトアヲサ	三十七ノ五十五
イトモ	三ノ一
一角魚（イチカクギョ）	一ノ七十七
イリスフロレンチナ	一ノ七
イヌモチノ一種	三十七ノ百二

東京大学総合図書館

伊香保ノ草（イカホノクサ）	二十五ノ五十七
イヨミツキ	二十七ノ四十五
板舌ユリ（イタヤ）	二十七ノ三十一
イタヤユリ	二十七ノ十八
イタヤユリ	十ノ五
イソムシ説	三十一ノ八
伊豆池村説（イツイケムラセツ）	二十二ノ六
出雲國仲門郡鵜峠銅鑛織田寛之ヨリ質問ノ答（イツモノクニカミノトカウリウノトウゲドウクワウ）	十八ノ七十
咽機吸魚（イニキタギヨ）	二十五ノ五十五
イギス	四ノ二
イギスコンニヤク	三十ノ二十三
石川縣治一覧表抜萃（イシカハケンジイチランヘウハツスイ）	十六ノ十四
池田炭ヲ切ルニ仕方アル事	二十八ノ二十四
遊葉蟲	廿八ノ四八
イトカケサウ	廿九ノ二
刷印集説	三十ノ廿一
イボタロウ	三十一ノ十二
イトマキフグ又コレゴウフグ	三十二ノ五
イタケウオ	三十二ノ六
イハシ	廿二ノ十二、四十九
イトヒキウオ	廿二ノ廿七
イナダ	廿二ノ四十二
イロニシン	廿三ノ一
石川縣博覧會列品目録	廿三ノ廿
伊藤圭介君ヨリ質問ノ答	卅七、卅九、大ノ
茨城先岡山縣ヨリ貸與目録	卅七ノ卅五
伊勢産水石	卅九ノ廿七
伊豆ノリ	四十ノ七十、七十一
イトヒキダコウ	廿二ノ十五
イチヤウギヨ	廿二ノ卅五
イタチウオ	廿二ノ五十
伊太利蜜蜂	廿三ノ廿七
イシコノ記	廿九ノ十七
伊豆相模ヨリ来ル動物植物目録	卅九ノ廿四
伊豆ノ臭橙	四十ノ十四
茨木縣下蝗害ノ報告課ヨリノ問	四十一ノ廿

東京大学総合図書館

ロノ部

ロットレラ　チンクトリヤ　二十七ノ二十三

ロットレラ　チンクトリヤ　十八ノ十

魯國ヨリ来ル各國人物模造人名書　十五　十六

盧粟ノ説　廿四ノ二

芦粟糖ノ説　卅六ノ四十七

八ノ部

バイカモ　三ノ七
馬病ノ蟲　二十五ノ二十六
ハチミグサ　三ノ六
ハチジヤウフノリ　五ノ二
八丈諸島產物集　二十二ノ二十五
ハリガチカツラ　二十七ノ二十九
ハリガチカツラノ說　十六ノ四
猬ノ新聞案　十五ノ十九
ハリブキ　二十七ノ八十二
ハルユリ　二十七ノ四十八
バラモミ　二十五ノ三十
ハンバリノ　五ノ一
萬國名產誌　八ノ五
礬石　二ノ九
房總記話　二十五ノ二十九
蚌ノ說　二十ノ十九
房州ニ鯉ヲ移セル話　二十六ノ三十
麦奴麦角ノ說　二十五ノ四十七

ハクウンボク	三十七ノ八十
白花ツボスミレ（ハククハツボスミレ）	三十七ノ二十一
早種馬鈴薯（ハヤタ子バレイシヨ）	三十一ノ十九
早種革菓（ハヤタ子ヘイクハ）	三十一ノ三十一
ハマウツボ	三十七ノ百九
箱根山ニ松ナキ話（ハコ子ヤマ　マツ　ハナシ）	二十五ノ二十八
ハマクヽ	一ノ八
ハミリドコロ	三十七ノ四十七
馬尾蜂（バビハウ）	三十一ノ五十五
ハゼウルシ	三十七ノ十三
早川兼吉ヨリ買上ル雑品名称	二十八ノ十八
ハリムシ	二十八ノ四十九
ハリガ子ムシ	二十八ノ五十一
ハゼノキ	二十九ノ五
斑竹	二十九ノ十三
白石　并　石灰	二十九ノ十五
林洞海筆記抜萃キユルク及蜜蠟説	三十ノ十一
版木質問ノ答	三十ノ二十
八丈産ガト石外三品	三十一ノ二

白露国鶏	三十一ノ四
芳香植物類目録	十九ノ一
熊谷氏ヘノ質問	
紡績機械購入費其他概算	二十五ノ二
ハタヽテ	二十二ノ二十六
白色紫梗脂髹法	二十三ノ十
梅花スミレ　一名ニホヒスミレ	二十三ノ四十七
ハボタン	三十六ノ二十三
ヘコモドキノ説	三十七ノ八
パインアップル絲	三十七ノ三十八
服部与惣次献猫葉木皮目録	三十七ノ四
馬勃ノ區別	三十一ノ三十
博物學ノ畧解	三十四ノ一
茂房大書記官ヨリ化石質問ノ答	三十五ノ六
ハリゴチ	二十二ノ五十五
蜂螫毒ヲ患白ニテ治ス話	二十三ノ二十六
芭蕉	二十三ノ四十
ハコモドキノ説	三十七ノ八

東京大学総合図書館

二ノ部

卅羽修治携帰魚貝圖目録	十五ノ十
ニカキ	三十七ノ七十九
日本蒟蒻説	三十ノ四十四
日光シラモミ	三十五ノ五十
日光山及近地草木説	十四ノ十一
人面子ノ説	十八ノ二十五
新西蘭麻之説	十二ノ十三
新西蘭麻之説抜譯	十一ノ四十
新潟縣下鮭ノ説	廿九ノ廿一
日本海藻類	卌ノ三
日本松柏名	卌ノ四
日本藻類ノ科	卌ノ五
ニホヒスミレ一名梅花スミレ	卅三ノ四十七
香ヒスミレノ記	卅六ノ卅七
新西蘭麻ノ説	卅七ノ六
日光産物ノ記	卅九ノ六十三

芒萩ノ差異 四十ノ五十六
牡蠣養育法 四十ノ四十五

ホ

ホノ部

ホニヤホニヤノ説 十九ノ四十五
菩多尼謌經 二ノ三
菩提樹子念珠ノ事 十九ノ三十二
ホグハラ 四ノ三
ホタルバヒ一名ホタルタマシ 三十ノ十八
ホタヒタケ 二十七ノ三十七
ホソメ 四ノ四
ホツクホート 二十七ノ百十五
本稲実切概説 二十三ノ三
飜譯局ヨリ受取書籍目録 十五ノ二十
本草書抜萃 十五ノ二十八
翻車魚 二十ノ二十
蓬 一ノ九
蜂房ノ塵ニテ蜜蠟ヲ製スル事 二十ノ十四
北海道紅鱒 二十一ノ四十
北海道艦材畧記 十四ノ一
北海道艦材略説 十六ノ二十七
北海道木材目録 十五ノ二十三

木耳及落葉松図解 四十ノ六十八
ホタテガヒ 廿八ノ四十七
ホッスガヒ 廿八ノ五十二
北越地方鮭卵採集実検 三十一ノ六
ホタルザコ 廿二ノ廿五
ホルトガル 廿三ノ九
蜂螫毒ヲ葱白ニテ治スノ話 廿三ノ廿六
ホップ培養法 卅七ノ十五
ボタンキヤウ服部氏園界 卅七ノ卅八
牡丹下種法 四十ノ八
北海道ヤマカラムシノ説 三十ノ七
北海道腊葉目録 三十一ノ十九
ホコリタケ 三十一ノ三十
ホヤ 廿二ノ廿三
ボラノ説 廿三ノ十三
北海道蠹材化石ノ説 廿三ノ廿九
北海道産石決明ノ記 廿九ノ九
盆栽植物及石ノ概記 廿九ノ廿一
芑ノ説 四十ノ五十三

へノ部

ヘチマンチス 三十七ノ三十九
ベニミカンノ説 十八ノ三十一
猫触（ベツイーウ） 三十二ノ十一
ベニギリサウ 廿八ノ四十二
ヘイマンチユス 廿九ノ四
米国出品庭木價附 三十ノ十五
米國博會行諸品目録 三十ノ十六
米国来眼球 三十ノ廿四
ベラ 廿二ノ四十四
米國葡萄園養方 卅六ノ卅一
ベッカフカメムシ 廿九ノ廿三
米国種食葉菜ノ説 四十ノ六十四

ト

トノ部

獨逸公使ヨリ問合同公使ヘ返答　十六ノ十
獨逸公使館関通券ヨリ質問返事　十六ノ十二
トチバイチゴ　二十七ノ頁八
土茶　十ノ十六
土茶説　二十七ノ十一
トリノアシ　四ノ五
凸眼金魚　二十ノ五
動物ノ各地有無移殖説　二十ノ十五
銅鉛之害　二十二ノ九
透明衡灰石ノ説　十八ノ四十
毒蟲説　二十二ノ十二
トクサドメ　二十ノ八
獨揺草　一ノ五
トコロテン　四ノ六
トサカノリ　四ノ七
土色口傳書　二十三ノ四
土人桃ノ説　十六ノ七
土人桃　二十二ノ十

トリゲモ　三ノ三
土中ヨリ堀出セシ丸木船ノ話　二十八ノ壱
ドクウツギ　廿八ノ十九
維府トリエスト土人製ノ造リ花　廿八ノ五八
トウヴルモドキ　十一ノ三
鬼耳草ノ説　卅六ノ四十八
トキクイ　卅二ノ四十六
ドヂヨウ　卅二ノ四十八
トビノウオ　卅二ノ五十四
土窖早作種栽培記　卅九ノ四十四
糖樹イタヤノ説　四十一ノ四十八
鳥

チ

チノ部

朝鮮浮木ノ綽綱　二十五ノ四十三
植物ニ関スル諸説　十七ノ
植物調査出張復命書　十四ノ九
植物ニ関スル諸説　十七ノ
苧麻ノ説成島謙吉ヨリ質問ノ答　十八ノ十一
椿欅ノ別　二十二ノ二十四
チウゼンジナ　二十七ノ六十一　六十二
竹林麦　二十一ノ三十六
竹実　二十五ノ五十二
竹蝨ノ説　十九ノ三十四
チヤボヱンドウ　十一ノ七
チヤボヱンドウ　二十七ノ十七
チヤンチン　一ノ三
重瓣淡紅桃花ノ説　十八ノ三十六
虫病ノ説　十九ノ十二
知母蘭　九ノ三
地生栗鼠　一ノ十八

東京大学総合図書館

チウゼンジナ	三十七ノ二十
長鞋頼佛物名訳	三十一ノ十八
虫白蠟	三十ノ十二
チヽタケ	二十八ノ十
植物名安井真八郎ヨリ質問ノ答	廿五ノ四
地理局ヨリ質問植物名	廿八ノ四
チビキウオ	廿二ノ廿七
地理局試驗場見聞録	廿三ノ八
鳥海山ノ松球	四十ノ五十二
チヨロギノ了	卅七ノ十八
鞣用樹皮一覧解説	四十一ノ六十六

り

リノ部

林樹并行樹ノ説	十九ノ三十九
鯉魚ヲ養良フノ發明	二十八ノ二十一
琉球有用植物	三十ノ十三
リヽヲテンドロン	二十八ノ三十二
琉球藩物品採集録	三十四ノ二
琉球産物目録	三十ノ十三
琉球物産報單	十九ノ三
リウグダイマツ又アカナマダ	廿二ノ三
琉球腊葉名稱	十四ノ六
栗豆樹	卅三ノ卅七
琉球腊葉種子木材目録	十二ノ十
狸ノ毛球	三十ノ十二
琉球産物品代價	卅七ノ廿九

東京大学総合図書館

ル

ルノ部

ルリハコベ　二十五ノ十三

ルードン氏林氏綱目書符號　九ノ九

東京大学総合図書館

ヲノ部

尾張國愛知郡名古屋天守ノ金鳴尾造営原由
尾張熱田ノ井水ヨリ出ル砂金ノ説　二十ノ五十六
阿利襪ト橄欖及ヒ膽八樹トノ辨別　二十七ノ百二十
ヲリーフ樹栽培法　十二ノ十三
阿利襪樹新聞案　十五ノ十七
阿利襪樹説　十六ノ四
大橋ノリ　二十七ノ百八
徃荅ノ書翰張込　十七ノ
鷗ノ蛤ヲ食スル話　二十五ノ二十
墺國並木之説　十三ノ三
黄花ノウグイスカグラ　二十七ノ九十八
墺國飼草作方之記　十四ノ三
墺國山林製方法　十三ノ二
青梅驛ノ石灰　二十五ノ二十四
小笠原島バラヤビイン　三十ノ二十七
小笠原島有用植物栽培着手ノ義伺　田中芳男ヨリ申　十六ノ六
小笠原島瓢形番瓜ノ説　十八ノ二十八
小笠原島甘蔗　二十一ノ三十三

小笠原島大鎖管　二十一ノ三十四
小笠原島南菓　二十ノ三十二
小笠原島橄欖　二十ノ三十一
小笠原島ゴムノキ葉　二十ノ三十五
小笠原島蠵亀　二十一ノ八
小笠原島蠵亀　二十一ノ三十九
小笠原島産蟹螯ノ説　十九ノ七
小笠原島試殖草綿ノ説　十九ノ十五
織田賢司ヨリ贈ル山猫ノ皮説　十八ノ三十三
榲桲　十一ノ六

ヲゴ　四ノ十六
ヲゴノリ　五ノ三
ヲキツノリ　二十七ノ六
小笠原嶌玉蜀黍　二十八ノ三十一
オニガンピ　廿八ノ十二
小笠原嶋蝙蝠ノ新聞案　廿九ノ卅四
小笠原島大蝙蝠　廿九ノ廿六
澳国ヨリ持帰ル品目録　三十ノ廿二
ヲドリカブ　三十一ノ三十四

オノ部

オホバノツルアリタウシ　三十七ノ九十
大坂来魚巻目録并説　二十ノ二十三
大坂堂島楊ノ説　十八ノ二十九
欧洲香料用物品目録　十九ノ一
オーエン氏ヨリウアグチル氏エノ書翰　十四ノ七
ヲキノミヨウ　廿二ノ廿九
大村ノ錫　廿三ノ廿五
温知會見聞録　卅六ノ十六
温知會見聞録　十二年三月　卅六ノ卅六
ヲノカヒ　卅六ノ卅四
小笠原嶌ヤ蘭外八品説　卅七ノ十二
荻ノ説　四十ノ五十五

小笠原島所附植物目録　三十一ノ二十二
小笠原島蒲葵　三十一ノ四十五
澳国維府小學用諸品并製品目録　三十四ノ二十六
ヲキヲコゼ　廿二ノ廿八
小笠原島畜種　廿三ノ四十一
狼ノ説　廿九ノ二
温知医談抜抄　廿九ノ廿
ヲランデ之説　四十ノ十二
オホセンダンノ説　四十ノ廿二
岡山縣牛ノ毛草ノ説　四十一ノ五十八

小笠原島大鎖管（ヲガサハラジマタイサクハン） 二十一ノ三十四
小笠原島南菓（ヲガサハラジマナンクワ） 三十一ノ三十二
小笠原島檸檬（ヲガサハラジマチイモウ） 三十一ノ三十一
小笠原島ゴムノキ葉（ヲガサハラジマ） 三十一ノ三十五
[illegible]書籍 [illegible]
[illegible]品目録 [illegible]
[illegible]
[illegible]目録[illegible]
[illegible]
[illegible]

ヲゴ[illegible] 四ノ十六
ヲゴノ[illegible]リ 五ノ三
ヲキツ[illegible]リ 二十七ノ六
[illegible]
小笠原島玉蜀黍 二十八ノ三十一
オニガンピ 廿八ノ十二
小笠原嶋蝙蝠ノ新聞案 廿九ノ廿四
小笠原島大蝙蝠 廿九ノ廿六
濠国ヨリ持帰リ品目録 三十ノ廿二
ヲドリカブ 三十一ノ三十四

小笠原島動物 三十一ノ九
小笠原島草木種類 三十一ノ廿三
ヲサカメ剥制方法 三十一ノ五
ヲキノヒヨウ 廿二ノ廿九
大村ノ鰑 廿三ノ廿五
温知會見聞録 卅六ノ十六
温知會見聞録 十二年三月 卅六ノ卅六
ヲノカヒ 卅六ノ卅四
小笠原嶋ヤ蘭外八点説 卅七ノ十二
荻ノ説 四十ノ五十五

小笠原島所附植物目録 三十一ノ三十一
小笠原島蒲葵 三十一ノ四十五
濠国維府小學用諸品並製品目録 三十ノ二十六
ヲキヲコゼ 廿二ノ廿八
小笠原島蕃椿 廿三ノ四十一
狼ノ説 廿九ノ二
温知医談抜抄 廿九ノ廿
ヲランデ之説 四十ノ十二
オホセンダレノ説 四十ノ廿二
岡山縣牛ノ毛草ノ説 四十一ノ五十八

東京大学総合図書館

ワノ部

ワチガイサウ　二十七ノ五十六
ワカメ　五ノ四
ワカメ　并カタメ　四ノ八
黄楊(ワウヤウ)ノ説(セツ)　二十ノ二十一
ワサビ栽培ノ説　四十ノ四十五
ワラスボ　卌二ノ五十三乙

カノ部

カハチシサノ説 十八ノ三十四
カイニンサウ 四ノ九
海燕 二十ノ十二
河豚皮 三十五ノ五十八
加奈川縣下害虫 三十ノ四十
カナメガシ 三十二ノ十九
カナメゾツチノ説 十八ノ四十二
賀来睦之著書 三十ノ二十五
賀来飛霞画賛ノ鴬 三十ノ二十六
呀蘭蟲養育法 十ノ一
呀蘭虫ノ説 十六ノ十三
廣東人参 二十二ノ十五
神田氏ヨリ借入預リ物目録 十五ノ二十一
ガンコウラン 一ノ六
眼子菜葉ノ内摺 二十ノ三十七
含生草 二十七ノ九
含生草 十ノ十四
含翠園出品菜果目録 十三ノ八

カウバウビエノ説　十八ノ二十六
香椿　二十七ノ二十六
高知縣下動物寫生目録　十八ノ二十六
香蕈　二十七ノ二十九
豪州物品採集録　二十四ノ三
狩野良信草木寫生目録　二十ノ五十四
カグラザメ　九ノ十五
カマウド　二十五ノ七
鵞不食草　二十五ノ二十四
咖啡ニ亜クベキ新植物ジヤク手記　十八ノ十三

鴨川石斛エツタ麦之説　十二ノ十
カモガシラ　五ノ五
カタザクラ　二十八ノ三十六
甘柿ニ渋味ヲ残ス説　二十八ノ三十八
柿實ノ蔕落ルヲ防ク法　廿八ノ廿七
カンコノキ　廿九ノ一
カウガタブ外七点　廿九ノ十八
鵝鶚鸕鸘ノ事　二十七ノ十七
勸農局出版書目　三十ノ六

勸商報告第七号記載ミツウドノ往復　三十ノ二
香蘭　三十一ノ三十三
海綿　三十一ノ七
香料植物類目録 熊谷氏ノ質問　十九ノ一
カゝ子　廿二ノ廿二
鹿島ノ松　廿三ノ廿一
莧氏越後ヨリ携帰ル草木目録　廿六ノ十九
莧氏献納海草　卅六ノ廿九
各種玉蜀黍ノ記　廿七ノ卅
カラハナ草ノ記　卅七ノ十三

菓子製教草　三十ノ十八
海絨　三十二ノ七
菓菜糖藏法　三十二ノ三十八
カゝミウオ　廿二ノ十六
カニトウレ　廿二ノ廿八
カナボイシ浮石ノ用法　廿三ノ五十一
ガウンジューアン社ヨリ送本ノ事　卅七ノ卅六
鱠残魚ノ話　廿九ノ六
加里長石又通常長石説　廿九ノ卅
金柗ノ説　四十ノ七

カマクラヒバノ記　四十ノ十七
蝗蝻ノ説　四十ノ四
蝗蝻字考　四十一ノ十三
カハ子ズミノ説　四十一ノ四十一
カタノリ　四十ノ七十四
蝗虫撲滅日誌　四十一ノ五
カヘルノ図ノ事ニ付武田氏ヨリノ書状　四十一ノ四十

ヨノ部

ヨヽギ　二十五ノ四十
ヨツバムグラ　二十七ノ八十九
ヨツバウキクサ　三ノ九
羊羹製方　二ノ十六
蕹菜　二十一ノ十一
用材苗木仕立并植附方法　十二ノ十四
蕹菜事ニ付支那漢口在留大鳥里賢之書状写　十五ノ二十七
用材強弱表訳　十ノ二十九
読売新聞抜萃河豚種類及食害飲剤　二十一ノ五十六
吉野桜　二十ノ四十九
ヨシキリザメ　二十五ノ十
ヨコダヒ　廿二ノ廿七ウ
長野県下水作ノ事　四十ノ一
カヤキリムシノ義ニ付報告課ヨリ書状　四十一ノ一

タ

ダンギクノ説 卅六ノ六
武田昌次ヨリ贈尚宕 卅六ノ卅ン
タイノムしノ之 卅一ノ八
蛋白石 卅九ノ廿九
タウセンダンノ説 四十ノ廿五
タグチナノ記 四十ノ四十四
タウク子ンボ 四十ノ六十八
竹ノ肥料 四十ノ八十
田中先生ヨリ来簡 四十ノ八十五

タノ部

大日本幅員(タイニッポンフクイン) 九ノ十九
大日本石高(タイニッポンコクダカ) 九ノ廿
タイナンアナゴ 六ノ二十三
瑇瑁(タイマイ)ノ草稿(サウカウ) 二十ノ二十四
タヌキモ 三ノ十
タガツテサウ 二十七ノ六十七
タカツク 二十五ノ六
タナセトム 二十五ノ四十二
ダンガラ 紅樹皮 一ノ二
丹後(タンゴ)干烏賊之説(ホシイカノセツ) 十五ノ十三
淡菜真珠(タンサイシンジュ) 二十ノ四
糖蜀黍未歴(タウシヨクシヨライレキ) 十八ノ七
玉川(タマガハ)ノ石伏魚(セキフギヨ) 二十五ノ三十三
玉川鵜飼遊記(タマガハウカイイウキ) 十四ノ十五
タマ井ノ説(セツ) 十八ノ四十五
武田昌次携帰魚介図目録(タケダシヤウジタヅサヘカヘルギヨカイヅモクロク) 十五ノ十二
タケミソ 一ノ十四
タブノ事(コト) 二十五ノ四十一

タキナ 二十七ノ八十七
タフ取調之説 卅三ノ六
對州ヘ漂着スル竹幹ノ話 二十八ノ五
玉虫産卵ノ次第 廿九ノ十二
タンガラ 廿九ノ廿八
タフノ説 鳴門… 廿九ノ十八
タブノ説、九州タブ 廿二ノ二
タラヴルモトキ 十一ノ三
武田昌次氏陸行携帰植物種子目録 廿五ノ九
タケノ子メバル 卅二ノ卅四
タヒラノハラミ 三十一ノ八
タヒノムシ 三十一ノ八
タロウ芋 三十一ノ四十四
種ナシ梨 三十一ノ四十三
ダイコンカブラ 三十一ノ三十四
武田注告植物書ノ題号 三十一ノ三十四
ダーリヤノ説 三十三ノ四十四
糧蔵菓菜ノ法 三十一ノ三十八
タユラ 卅二ノ廿六
タカワリ 卅三ノ五

レ

レノ部

レセタ 十六ノ十七
檸檬(レモン)油(イユ)ノ製法(セイハウ) 二十八ノ三十五
檸檬(レモン)ト枸櫞(マルブシユカン)ノ比較(ヒカク) 二十ノ二十八 同 三十一
レモン貯蔵法 三十ノ四
鈴利獻北海腊葉名 三十一ノ十九

東京大学総合図書館

ソノ部

遡遊従之 十二ノ二
蘓方木 十一ノ四
蘓方木ノ條譯稿 十一ノ三十五
蘓木考 十四ノ八
雙頭蛇 九ノ十四
鼡李 一ノ十二
曽我柿 二十五ノ十八
鱒卵採集交接ヨリ運送順序 十八ノ五
象牙実 一ノ四
双廻果樹ノ説 二十ノ四十三
象趾草 九ノ二
桑皮織緯 三十ノ三十七
烟草ノ害虫ヲ駆除スル法 三十九ノ七
ソープルート 三十二ノ三十六
蘇鉄子ノ説 四十ノ廿

ツノ部

ツボクサ　二十七ノ百十三
ツボスミレ一種　二十ノ四十八
ツルコケモヽノ説　十九ノ二十四
ツルモ　三ノ十一
ツルモ　四ノ十
津軽官山林製設立ノ義　二十二ノ二十七
津軽官山現状略説　二十二ノ二十六
ツガザクラ　二十七ノ四十六
ツタヤクシ　二十七ノ七十三
都奈之考　二十ノ二十三
ツノマタ　四ノ十一
ツクエイスノスニハウ　二十二ノ三
ツゲノ説　二十二ノ二十一
ヅクビキノ実況　廿九ノ卅
杖ノ元材取調　卅六ノ七
ツバクロモヽ及キンロキモヽノ説　卅七ノ九十九
ヅミノ材　四十ノ八十六

ツマグロイナゴノ図　四十一ノ廿四
ツカザクラノ説　四十一ノ五十四

子ノ部

子イモウトコウエンノヒカク　三十ノ三十八
年魚（子ンギヨウ）　二ノ十二
子コザメ　廿二ノ四
子ギウオ　廿二ノ四十五

ナノ部

内博引継植物名 三十ノ五
内國博覧會出品物解説 十五ノ二十九
ナハシロイチゴ 三十七ノ十五
ナガバノギラン 三十七ノ八十八
長崎縣下綿犢並ヒラン説 二十ノ三十八
長崎縣下物産説 二十五ノ十四
ナガモク 二十七ノ五
ナツウバイ 二十七ノ十三
ナツタイタイ 二十七ノ百十四
南海ノ一果核
ナゴヤ 四ノ十二
ナギイカタ 十一ノ十三
ナギイカタ 二十七ノ十
並木ニ用ウヘキ樹木ノ説 十八ノ二
直真贈附笠島草木種類 三十一ノ廿三
鳴門義民述蟲雛説 三十五ノ七
長崎縣ノ依頼ノ植物名称 四十六ノ九
長岡與郎ノ竹藪中ニ生セシ菌 四十七ノ九十一

中島蚕柑　四十ノ十五
ナンジヤモンジヤノ説　廿四ノ十一

ラ

ラノ部

落花生　十六ノ三十四
ラウレルノ説　十九ノ三十二
ラウレルノ説并肉桂　十八ノ三十二
蠟燭　十九ノ三十五
蠟皮虫　二十ノ七
萇菪根分析ノ説　二十八ノ十七

ム

ムノ部

ムツゴラウ并ワラスボ　卅ノ一

無花果(ムクワクワ)　卅三ノ廿

ムサヽヒ　十ノ廿

虫捕網(ムシトリアミ)　廿ノ十六

ムメザキウツギ　卅七ノ卆一

ムカゴ人参即種人参説　卅七ノ一

ムメボシ　卅九ノ十二

ムベノ説　四十ノ廿

ウノ部

烏木（ウボク）	三十七ノ	百三
㊀ウリカハ	三ノ	十二
ウハメガシ	二十七ノ	七十七
魚疣治方（ウヲノメヲヂスルハウ）	十一ノ	二十六
ウツプルイノリ	四ノ	十三 又五ノ七
魚疣（ウヲノメ）ヲ治（ジ）スル法（ハウ）	十二ノ	七
十六島海苔（ウツプルイノリ）ノ説（セツ）	十九ノ	二十九
㊂ウラベニウキクサ	三ノ	十三
ウラベニスモヽ	二十五ノ	二十九
ウラベニスミレ	二十七ノ	四十九
ウクイスサウ	三十七ノ	三十七
ウケウド	五ノ	六
農業山林部目録（ノウギヤウサンリンブモクロク）	十三ノ	一
ウミソウメン	四ノ	十四
ウシグミ	三十七ノ	八十一
ウミマツ	四ノ	十五
ウミヒル	十一ノ	二十五
ウミスドメノ説	十八ノ	二十三

羽扇竹ウセンチク 一ノ十一
蠵亀肉貯蔵法 三十ノ五
烏頭三種ノ名 三十一ノ三十九
ウミスヽメ 卅二ノ十八
雲斑竹 卅三ノ二
馬鶩カントム毒木 卅三ノ卅四
蕓薹ノ丁子ヲ岡山縣ヨリノ来状 卅六ノ十七
ウキウトノリノ説 卅六ノ十八
海膽ノ説 三十ノ三
ウミワタ 三十一ノ七
ウラタヤシ 三十一ノ四十六
ウワヱコ 卅二ノ四十七
ウグヒスノ名 卅三ノ十四
ウモレキノ説 卅三ノ五十
漆取扱觸状ノ事 四十一ノ三十

ノノ部

ノタイコン 三十七ノ六十八
農業得益辨ノウギヨウトクエキベン 三十三ノ二
ノケノリ 五ノ八
ノバセチ 三十一ノ四十六
ノヤシ 三十一ノ四十六

ク

クノ部

クロノリ并スイセンジノリ　五ノ　九
クロマメノキ　三十七ノ　六十九
クロユリノ根　三十七ノ　二十二
クロエソ　二十五ノ　十一
クロモ　三ノ　十四
クハノハイチゴノ説　十八ノ　四十六
クハエンダケ一名サンゴシユダケノ説　十八ノ　三十
車葉草　二十一ノ　十
欵冬ノ効用　二十五ノ　四十八
クワノウモレギノ説　十八ノ　三十八
郡青瑪瑙ノ一　十九ノ　二十三
熊谷實商植物名　二十三ノ　四十六
鸜鵒卵　三十ノ　四十二
クサギノ説　十八ノ　四十一
クヒキリムシ　二十二ノ　四十三
クモノスシダ　三十七ノ　七十一
九十九里温魚漁ノ手續　二十八ノ　二十二

火水除合羽紙製衣方 廿九ノ九
クハクハツガエ 三十一ノ廿八
菓菓糖蔵法 廿二ノ廿八
菓樹代價取調 卅六ノ九
グランドレノキ并ギョリクワンノ説 卅六ノ十二
グサソテツノ説 卅七ノ九
クスギコナラノ種類 卅六ノ十一
クサソテツノ説 卅七ノ九
クスドクノ説 卅七ノ十一
熊痢治療ノ景況 卅七ノ卅三
群芳圖譜抜萃植物説 三十ノ廿三
薫香植物類目録 十九ノ一
熊谷氏ヨリ質問芳香植物数目録 十九ノ一 熊谷氏ヨリノ質問
胡桃ノ花葉ヲ乞フ照會 卅七ノ卅四
栗苗仕立方ノ良否 四十ノ五
クロベスギノ説 四十ノ十六
黒百合ノ産所 四十ノ六十三
草取根掘ノ道具ノ事ニ付武田氏手翰 四十ノ三十八

ヤ

ヤマトウガラシノ説 縮入新聞抜萃 四十ノ八十一
ヤマニグラニレノ義ニ付勧農局ヨリ報告課ヘノ答 四十ノ十九

ヤノ部

ヤツメウナギ 一ノ二十
ヤラボ 二十三ノ二十
ヤナギサウノ説 十八ノ二十七
ヤナギジョウラウ 三十ノ四十七
ヤウラクドウダン 二十七ノ八十三
養魚復命書并サケノ概説 十九ノ五
楊梅ノ効用 二十ノ三
ヤマハタザホ 二十七ノ七十六
ヤマトウチハ 二十七ノ五十八
ヤマガマスノ説 十九ノ八
ヤマノカミノオコゼ 一ノ十九
ヤマグミ 二十七ノ四十二
ヤマグミ 二十七ノ四十一
山蚕并害虫 二十三ノ五
ヤマユリ 二十七ノ百二十
山本章夫ヨリツガノ調匠輸 十一ノ三十
山本章夫携帰山城川魚之國目録 十五ノ十一
ヤブサンザシ 二十七ノ五十二

東京大学総合図書館

薬剌巴ノ説 十八ノ八
ヤブカハユリノ説 四十ノ六十六
山藍ヲ以テ藍澱ヲ製スル話 二十八ノ八
野宮蘭 二十八ノ二十七
山形縣鮭ノ説 廿九ノ廿二
山苧勧農局ヨリ答 廿九ノ廿九
八重月下香 卅三ノ卅六
ヤクシマイモノ説 卅六ノ卅八
薬窗日談抜訳 卅七ノ卅一
羊歯分科名彙 廿九ノ六十二
八重水仙 四十ノ六十二
ヤトロフハゴツシピイフヲリア 二十八ノ十五
山口縣下漁村ノ景況 二十八ノ二十二
ヤーム 三十一ノ四十七
山梨縣下地質取調報告 三十五ノ五
ヤハキ 卅二ノ卅
山口縣下周防国佐波郡向島黒瀬要捕ヨリ農務局ヘ答書写 卅九ノ十四
八重山海参ノ説 卅九ノ十八
羊歯類ニ関スル草稿 卅九ノ六十一
ヤメラガシハノ考 四十ノ十

マ

マノ部

マイラ茶 三十ノ十四
玫瑰花ノ説 十九ノ三十五
マルメロ 三十七ノ三十五
マルモット考 九ノ十三
麻黄 三十七ノ百十一
麻黄 下ノ十三
マガリダケ 三十五ノ三十一
松野獨逸木材説 十一ノ三十二
マツモ 四ノ十七
マンコールド、ラルジル 九ノ七
麻葉繍毬 十一ノ九
マヒヅルサウ 三十七ノ九十四
菰ニ種子ヲ結フト不結トノ説 二十八ノ十四
マヒサカノリ 三十一ノ四十一
マス 卅二ノ廿
マムダヒ 卅二ノ廿九
本屋洋書目録 卅三ノ十一

マルカ　卅三ノ百四
曲直瀬氏墓碑銘　卅七ノ卅四
マルバチレヤノキ即ラクボノ考　四十ノ十一
マグノリヤノ説　卅三ノ卅八
真崎氏所恵ノ海綿属　卅九ノ十六

ケ

ケノ部

鶏蛋花　三十九ノ三十七
鶏卵剖界説　十四ノ二
鯢魚児　三十八ノ四十
蛍石ノ説　二十九ノ四十
ケリ　下ノ十六
蒹　三十五ノ十七
ケンボナシ　二十七ノ百一
鮭卵採集ノ実検　三十七ノ六
芫花ノ答　四十ノ十一
絹線ノ記説　四十一ノ六十五

フ

フノ部

桴木葉　二十一ノ七
フトモヅク　二十七ノ一
プリッケリーコムプレーノ説　十九ノ十六
富岳記行譯　十二ノ四
不可思議鳥　一ノ十五
ブタヽバコ　二十一ノ二十四
葡萄害蟲　二十ノ十六
佛國種合歡樹ノ説　十八ノ三十七
文祢麿墓誌　二十二ノ七
府内近傍ニ来ル鳥類ノ云ヽ　十六ノ十
ブナノ培養等之方法　十ノ三十六
ブナ附属佛書一ノトル之抜譯　十一ノ三十七
ブナゴケ　四ノ十八
ブナノキ　二十七ノ八十四
佛蘭西版料理書抜譯　十六ノ三
フノリ　五ノ十
フノリ　四ノ十九
フラスモ　三ノ十五

風鳥ノ名 十九ノ廿六
フウリンツヾヂ 二十七ノ六十六
武甲相州巡回中採拾品目 十四ノ十
フキツメサウ 二十七ノ三十一
フジンチレグウナラ 十九ノ四十
武州忍ノ李 二十五ノ五十三
フナムシ 廿八ノ四九
皇蟲類写真目録 廿八ノ五七
浮石 廿九ノ十六
物産家小傳 三十ノ三
佛語物品ノ訳 三十一ノ十八
葡萄園養ニ 廿五ノ三
ブカ 廿三ノ五十一
ブンゴサいノ説 卅三ノ卅五
藤細工ノ[illegible]及説 卅六ノ八
楓猿ノコト付山形縣ヨリ来状 卅六ノ廿七
藤田氏ヨリ預リ木材ノ記 卅六ノ十四
文光果ノ説 四十ノ卅七
フデ細工原料ノ印葉及代期 四十一ノ六十二

コ

コノ部

牛房葉 二十ノ四十
梧桐ヲ並木ニ植ル経験 二十五ノ三十一
コルシキユム 二十七ノ三十三
五葉松信州飯田岩崎新三郎問合タル返事寫シ 十六ノ九
古象ノ齨歯 二十ノ九
コンブ 四ノ二十 又五ノ十一
公孫樹葉 一ノ十
紅豆ノ説 十九ノ四十四
厚浮皮剥製ノ法 十八ノ三十九
厚浮皮剥製方壌拴製造法傳習并右苗木購求ノ件上申寫 十六ノ八
紅皮梨 二十五ノ十五
甲駿相採植名 二十ノ四
穀菜種時一覧 九ノ八
黒刺李 二十五ノ十六
駒場野薬園 二十ノ三十三
コブシ 二十七ノ四十
コデマリ 二十七ノ二十
御祈祷鳥 二十五ノ三十五

東京大学総合図書館

コメバッカサクラ 三十七ノ六十四
コメノリ 三十七ノ四
コメユリ 三十七ノ百十二
コンガウフグリスイトマキフグリ 卅二ノ五
駒塲藥園目録 廿九ノ廿三
甲州都留郡長野地味ノ説 卅七ノ十四
胡桃ノ花葉ヲ乞照會 卅七ノ卅四
工用木材見本 四十一ノ六十九
五歛子ノ説 十八ノ十

紅樹皮タンガウ 一ノ二
骨鯁ヲ治スルノ方 廿八ノ廿四
コメヤナキ 二十八ノ四
衡州烏藥 二十八ノ三十四
寶石カナボイシノ用 卅三ノ五十一
コロビキウラ 卅九ノ十九
枯枝ノ附着セル樹 四十ノ七十九
小塩氏ヘ依頼ノ植物名 四十二ノ七十五
コトンクリ[illegible] 卅六ノ一

影木ノ説 廿一ノ十五
エトロフ産熊ノ説 六ノ六
蝦夷地産物 九ノ十
燕窩 十ノ十九
遠藤致之ノ話 十二ノ廿二

エ

エノ部

蘡薁蛇葡萄蘡薁三種ノ辨 三十七ノ百二十三
エトロフ熊 三十ノ五
燕窩集説 十五ノ三
紅娘子ノ竹蝨ヲ食フ話 三十一ノ五十一
エサウ 三十五ノ三十二
圓實胆八樹ノ説 十九ノ四十八
エウカリプトスカロヘイラ 廿一ノ三十七
エビモ 三ノ三十四 廿七ノ九十九

エミレダ 廿八ノ四十三
エノキタケ 廿八ノ四十五
烟草ノ害虫ヲ驅除スル法 二十八ノ七
延喜年中下總國税式 二十八ノ二十九
越後鮭魚 廿八ノ五十七
エバラアエビ 卅二ノ十七
燕子来朝 卅三ノ廿四

テ

テノ部

テイカヽヅラ　二十七ノ百九
テイカヽヅラ　三十七ノ十四
泥鰌悪水ニ堪ル説　三十ノ四十九
鉄瓜　二十五ノ四十四
テンヂクボタン　九ノ四
天竺桂ニ付小倉縣ヨリ問答抜萃　十五ノ二十四
甜桃楊ノ説　六八ノ十
田鎖綱紀質問答ヘ　二十八ノ十
天蚕絲　三十ノ四十五
條約諸國産物誌畧　八ノ四
長尾鶏　二十ノ六
鳥獣類剥製大畧　十五ノ二
躑躅花ノ説　二十五ノ三
テウシツヽジ　廿八ノ三
テンニンサウ　廿九ノ三
天竺牡丹　廿九ノ廿七
天竺牡丹　三十ノ三十五

朝鮮刻烟草ノ評 三十一ノ三十七
テイス 廿二ノ十七
傳線仏 廿三ノ七
泥炭ノ説 廿五ノ四十九
泥炭ノ説 卅七ノ五
テフザメ 三十一ノ十一
テカミハゼ 廿二ノ四十三
テンキ 廿三ノ廿三

ア

アノ部

安房蠣亀ノ話（アハケイキノハナシ） 二十九ノ三十二
鵪佐草之譯說（アンサウノヤクセツ） 十三ノ五
アヲハダ 二十七ノ百五
アヲウキクサ 三ノ十六
アヲノリ 四ノ三十一
アヲヤギ 三十ノ三十三
アヲサ 四ノ三十三
アヲサ 四ノ三十二
アガリクス、カンペストリス 九ノ六
アカ子ツ子ノコト 三十ノ三十六
アカウキクサ 三ノ十七
アカマンボウ 九ノ十六
アキノハナワラビ 九ノ五
アカキ 二十五ノ八
アカモノ 二十七ノ八十六
アラメ 四ノ二十五
アレチノキク 二十ノ四十六
アレチノキク新聞紙 十五、十六

アンペラ 十九ノ二十五
アンペラノ説 十九ノ三十一
アクシバ 三十七ノ二十
アマノリ 四ノ二十四
アマモ 三ノ十八
アコヤガヒノ説 十九ノ九
アブラチヤン 三十七ノ四十四
鴉鳶鸕鷀猟ノ事 二十七ノ十七
アサクサノリ 廿ノ十二
麻布新聞ノ蘖ノコト 十九ノ三十一
アジモ 三十七ノ三
アヲウリ 二十八ノ十六
梫木ニ毒アル話 二十八ノ十三
蛙鳴ヲ止メル法 二十八ノ二十三
甘柿ニ渋味ノ残ル説 廿八ノ廿八
アレマトヒ 廿八ノ五十
鮠魚 廿九ノ十九
アカブラ 三十一ノ三十二
アカシア デキルレンス 三十一ノ二十五
アマリス ヴイタ、 三十一ノ二十六
アカツク子 三十一ノ四十七
亜麻製造法 廿五ノ八
アカアレカウ 廿二ノ十三
アユカケ 廿三ノ廿一
アフカヅラノ説 卅七ノ三
アマタイーノ説 卅六ノ三
アカナガカブラノ説 卅六ノ四
アカミカンノ説 卅六ノ十二
アリエンドドナキス説 卅六、卅八
アカナガカブラ 三十一ノ三十四
アサガホガヒノ説 廿五ノ一
アカナマダ ヌリウグダヒ 廿二ノ二
アカエヒ 廿二ノ十四
アユ 廿三ノ四十
愛智博覧会出品生善解説 卅六ノ四十
愛智博覧会列品概表代価 卅六ノ四十二
アラキダツチノ説 卅六ノ四十四
梫木ニ毒アル説 卅七ノ七
安房ノ蛇 卅九ノ三

蟻ノ樹ヲ害スルヲ防ク法 卅九ノ卅四
愛知博物館ヨリ寄附品説明書 卅九ノ卅六
アリエンドドナキスノ記 四十ノ五十二
青森縣津軽郡産樹木暗葉目録 四十二ノ五十五
アンペラグサノ説 四十ノ六十
アマモノ説 四十ノ七十二
アヲイリトイトアヲサノ別 四十ノ七十三

サ

サノ部

菜蔬生萠種子貯蓄表 二ノ二
サロンバイ 三十七ノ百四
サボテン考 十ノ二
砂糖蜀黍之説 十五ノ三十六
サワグルミ 三十七ノ九十三
サガラメ 四ノ三十六
堺縣下大和國山邉郡永原村直播稲苗試驗表 二十三ノ一
サカキ 三十七ノ百三
薩撒揚ノ説 十八ノ九
山邉豆考 十二ノ一
サンカクナ 三十七ノ九十二
サンカクナ 三十七ノ九十二
サンカクサウ 三十七ノ九十六
蠶卵説 十五ノ十四
山薬粉ノ説 十八ノ二十七
蠶事関渉物品目録 十四ノ四
サンセウモ 三ノ十九
作木 二十ノ三十四

櫻（サクラ） 二ノ五
サクラ 二十七ノ三十七
櫻楮ノ問并答（サクラカウゾノトヒナラビニコタヘ） 二十六ノ十六
サクラノリ 四ノ二十七
サコンノタチバナ 二十七ノ三十五
佐澤太郎質問植物名（サザハタロウシツモンシヨクブツメイ） 二十五ノ四
サヽモ 三ノ二十
刷印集説 三十ノ廿一
珊瑚 三十一ノ十
山林ノ大眼目 三十一ノ十六
蚕種一枚ヨリ孵化スル概數 二十八ノ二十五
柞及櫟ノ説 二十八ノ三十三
佐伯義門質問ノ答 廿八ノ五四
サンカクビル 廿九ノ十七
山苧勸農局ヨリノ答 廿九ノ廿九
西京及ヒ度會縣下博會贈品目錄 三十ノ十二
採藥建言 三十一ノ一
サメノマモリ 三十一ノ十三
サヽバノボタン 三十一ノ廿七
サメノキンチヤク 三十一ノ十三
サタウ漬ノ法 三一ノ卅八
サケ沓身ノ塩辛 卅三ノ十六
薩摩ト金鐘與ニ種乙ノ話 卅三ノ卅三
サモヽノ質問及ヒ答 卅三ノ卅二
薩摩ノ木材 卅七ノ二
サバノオノ説 卅七ノ十
サフランノ丁 卅七ノ十七
柞木ノ説 卅七ノ十二
蚱蜢ノ説 張斯桂 四十一ノ廿三
サケノタマゴ採集実検 三十一ノ六
サウブカ 卅二ノ五十二
鮭種川採數簿 卅三ノ十九
作州津山頭星ノ説 卅三ノ廿八
山礬 卅三ノ廿九
山林局ヨリ質問ノ答 卅六ノ九二
サフランノ丁 卅七ノ十七
サメノタスキ 四十ノ七十五
山帰来又土茯苓ノ説 四十ノ八十四

キ

キノ部

蟻 九ノ十七
机椅寸法 二十二ノ三
擬合歡説 十九ノ十六
キカシグサ 三ノ二十三
魚木 一ノ一
魚鰾并膠 二十ノ十一
魚類分科 九ノ十二
キワタノ説 十八ノ三十
崎陽輸出品物 二ノ十三
欅材養護ノ上申 十九ノ五十
木曽動物取集目録 十九ノ十
木曽山ノ傳聞 十九ノ卌九
キツ子ノオ 甲 三ノ二十四
キツチノ尾 乙 三ノ三十五
幾那學ノ説 十九ノ卌六
キナキナ 二十七ノ百六
幾那樹培養畧説 二十一ノ五十七
幾那樹新聞案 十五ノ十六

キンギヨモ　三ノ三十一
金亀子考　二ノ十七
金石学元素表之稿　二十五ノ一
九州タブ　タブノセツ　二十二ノ二
菊　二ノ八
葵花鳥　二十ノ十三
キグガラクサ　二十七ノ八十五
キグガラクサノ説　十九ノ三十
菊栽培法　十四ノ五
キクモ　三ノ二十二
京都府肥料　二十二ノ一
キヤウノヒモ　四ノ三十八
紀州ヒシ魚　二十二ノ八
紀尾濃勢産物寫生目録　二十ノ五十三
寄生分科　二ノ四
寄生分科　二ノ六
牛馬ノ虱ヲ驅除スル法　二十八ノ六
金花堂蔵版目録　二十八ノ三十
キノス　廿八ノ四四
紀伊名所圖會産物　廿九ノ六
金魚養草　三十ノ十九
キンミカウラミ　三十ノ廿九
キムラタケノ説　卅六ノ四十一
教育博物館花実放大模造　卅六ノ四十五
岐阜縣生絲製造ノ説　三十ノ八
キクモ　三十一ノ十七
キンヤギ　廿二ノ二
金鑛ノ記　卅九ノ廿六
金針菜　十八ノ三十九

ユノ部

ユツリハ　十ノ十一
ユツリハ　二十七ノ二十四
ユキワリコザクラ　二十七ノ六十三
ユキノリ　四ノ二十九
癒瘡木（ユサウボク）ノ説　十九ノ二十
有用植物質問ノ答　三十一ノ二十
ユキノリ　三十一ノ四十二
柚醞製法　四十ノ四

東京大学総合図書館

メ

メノ部

名東縣草木寫生目録　二十ノ五十一
明治八九年勧業寮往復　二十四ノ四
明治八九年米國博覧會事務局往復　二十四ノ五
明治八九年諸方江ノ往復　二十四ノ六
明治十年内國勧業博覧會出品目録　二十六ノ一
明治十一年佛國博覧會出品目録　二十六ノ二
メクラウナギ　十一ノ二十四
明治十一内博會ヨリ出賞与數表　三十ノ九
明治八年百園養動物表　三十ノ十四

メバル　廿二ノ廿二
メクラウナギ其他ノ説　廿三ノ廿
メクラウナギ賀來飛霞ノ名　廿三ノ廿三
メトラノ說　卅六ノ卅五

ミノ部

ミル　二十七ノ　二
ミル　四ノ　三十
御岳山ノカツラ（ミタケサンノカツラ）　二十五ノ　二十六
御岳山ノ黄楊（ミタケサンノワウヤウ）　二十五ノ　二十五
ミゾハギモドキ　三ノ　三十
ミゾハコベ　三ノ　二十七
ミチブバウ　三十七ノ　七十五
ミツハチノタシムハナ　三十一　四十四
ミゾハコベ　三ノ　二十八
ミヅニラ　三ノ　三十三　廿八ノ　二十
ミツニラ　三ノ又　三十三
蜜蜂ノ説（ミツバチノセツ）　十九ノ　七十七
蜜蜂ノ嗜花（ミツホウノタシムハナ）　三十一　四十四
ミヅヲバコ　三ノ　二十九
ミツヲトギリ　三十七ノ　百
ミヅワラビ　三ノ　三十一
水莕忍冬間植物名（ミツタニモノフミツモヒシヨクブツメイ）　二十ノ　四十一
ミヅマツバ　三ノ　二十三

ミヅユキノシタ	三ノ三十三
ミツキ	三十七ノ十九
ミツキ	十ノ八
ミツヒキモ	三ノ二十六
ミヤマミグレ	二十七ノ三十八
ミヤマシキミ	二十ノ五十五
ミノウヲ	三十二ノ三十八
ミヽズバイ	三十二ノ七
三角有儀（ミスミイウギ）ヨリ質問（ミツモンキ）ノ記	十八ノ二十九
三角有儀ヨリ寄セシヤボランジー氏ノ問	廿八ノ卅九 及甲
皆川氏龍骨ノ詩	廿八ノ四十六
蜜蜂脛之ノ報告	廿八ノ五十三
三重縣一分与植物効用ノ答	三十ノ十
ミツイモ	三十一ノ四十四
ミシマヲコゼ	卅二ノ十六
三重縣博覧會列品解説	卅六ノ卅三
ミヤマコナスビ	卅六ノ四十五
蛇麻草ノ[illegible]	卅七ノ十二
美濃平大根	四十ノ四十七

四維梭ノ記 四十ノ四十四
白吉ノ記 四十ノ四十
紫育木 四十ノ六十二
紫根 四十ノ六十五
蕃ノ説抜萃 四十ノ五十五
シコ及クマジヨノ説 四十ノ七十八
試験場ノ答辨ニヨリ高木治蔵ヨリ問ノ答概略 四十一ノ二
蠶斯科蠶蠶科ノ説 四十ノ三
真甲鯨ノ説 四十ノ四十三
樟脳ノ説 四十ノ七十
書籍ノ儀ニ付武田氏ヨリ来状 四十ノ七十六

し

シノ部

ジロアブラ 十ノ八
シロアブラ 二十七ノ二十二
シボリ 五ノ十三
シチノキ 二十七ノ百七
種植接挿期節表 十九ノ二
シカナ 二十七ノ九十五
シカナ 二十七ノ九十七
松柏擲躅其他ノ目録 二十五ノ二
松柏類ノ蠹蟲 二十ノ九十二
松花ノ説 十九ノ二十六
諸家ヨリ献納品目録 六ノ一
諸家ヨリ質問之答 七ノ三
諸縣ヨリ産出ノ楮類 十六ノ一
諸國土産名物抜書 十一ノ三
松脂ノ製法 十九ノ四十三
常陸那珂河産ノ河鱸 二十ノ二十一
シダモノ圖 十八ノ一
漆樹栽培法 二十ノ三十一

支那乾筍	二十ノ	一
支那干筍之説	十六ノ	三十五
支那養猪ノ法	十五ノ	七
シナガハノリ	四ノ	三十一
支那養蠶ノ法	十五ノ	六
支那養羊ノ法	十五ノ	九
支那養鷄ノ法	十五ノ	五
支那養牛ノ法	十五ノ	八
支那種ノ蓮	二十一ノ	九
支那物品目録	廿六ノ	二
支那薬種五十品目録	十五ノ	三十
支那在勤武田昌次ヨリ之書翰	十四ノ	十三
支那金針菜ノ説	十八ノ	三十五
シラモ	四ノ	三十二
椹木ノ説	十九ノ	三十八
新聞紙案	十五ノ	十五
人工四方竹	三十ノ	四十八
針葉濶葉樹ノ名	三十ノ	十四
信天翁	三十一ノ	三十
神樹及其蠶	二十ノ	三十二
信州戸隠山	二十二ノ	十三
信州ノ黒柿	二十五ノ	二十四
信州採薬動物目録	十四ノ	十七
信州四郡草木目録	二十ノ	五十三
新名ヲ定ル例	九ノ	一
真正牛表	九ノ	三十
十二季魚獵図説	二十ノ	二
蕈類	二十二ノ	四
獸皮ニ蟲ノ付ヲ防ク方	十九ノ	六
不忍池蓮藕并蜂ノ事	十九ノ	四十
蔬菜耕作法并農事雑事等浅見氏ヨリ質問答	十八ノ	三
樟油	二十ノ	二十八
瓜哇印度派出ノ概略	二十五ノ	十九
瓜哇花実并葉樹図書目録	二十五ノ	三十六
暹羅国未品目録	十二ノ	九
樟木ノ蟲害	二十ノ	二十九
樟蟲ノ話	十九ノ	二十七
シャクジャウバナ	三十七ノ	百十
シロクジャウハナ	三十七ノ	百七
樟牙菜	十六ノ	十二

東京大学総合図書館

樟牙菜　二十ノ四十七
薔薇ニ生スル甲蟲ノ事　十九ノ二十三
薔薇ノ説　十九ノ十一
柘ノ説　二十五ノ四十九
シヤジクモ　三ノ又三十三
シヤジクモ　三ノ三十三
シマツバキ　二十七ノ三十六
島根ノ石梅　二十一ノ十七
シマ井ノ説　十八ノ四十四
シマザク　三十ノ六

シマズヽキノ説　十九ノ三十七
馴鹿　十六ノ三十一
シデコブシ　二十七ノ九十五
爪哇ヨリ頼種子名　三十ノ二
爪哇楓樹ノ説　二十ノ四十二
爪哇ヨリ来ル種子ノ目録　十九ノ四十七
シキンジヤウアリ　五ノ十四
筍乾　二十ノ三十
樹膜ノ説　十八ノ三十一
樹名對譯　十九ノ四十二

シーボルト説質問本草　十四ノ十六
シヽンラン　二十五ノ九
椎茸ノ説　十九ノ十九
シカノツノコケ　二十八ノ十一
柿實ノ落ルヲ防グ法　二十八ノ三十七
衆芳軒藏府縣志抜萃　廿九ノ七
新刻書籍可買上目次　廿九ノ八
赭塊　三十一ノ四十七
シマウオ　廿二ノ廿三

榎木ニ毒アル話　廿八ノ十三　廿七ノ七ニモアリ
女貞子ヲ以珈琲ニ代用スル説　二十八ノ九
森林ヲ仕立ル事　二十八ノ二十六
籾糠効用ノ質問　二十八ノ二十八
ジヤボランジー　三十六ノ三十九　又四十一
シチメンテウ　三十一ノ四
新竹蠟ヲ生スル説　三十一ノ十四
薯蕷ノ性質ヲ変スル事　三十一ノ四十
シラウオ　廿二ノ十三
シラスボシ　廿二ノ五十三甲

紫百合産地　卅三ノ三
白色紫梗脂鬆法　卅三ノ十
信州諏訪湖産蜆蝌ノ説　卅三ノ七
シヤジクモ　卅三ノ四十五
シヤウジヤウボクノ説　卅六ノ廿一
清地産青奥ノ了　卅六ノ卅四
松楊ノ記　卅六ノ卅九
瓜哇ヨリ注文品ノ内未詳植物名　卅六ノ九五
梫木ニ毒アル説　卅七ノ七
樹木ニ付意見書

自然薯　卅三ノ四
東湶ノ區別　卅三ノ十三
シマタウモロコシ　卅三ノ四十三
荷藤　卅三ノ四十六
芝閑拓伐支願行記　卅七ノ卅九
島根縣ヨリ雲母鉄鑛質問ノ答　卅七ノ卅二
シイタケノ了　卅七ノ九二
シブノ記　卅九ノ五
後志州瀬棚産甲乙二号鑛物　卅九ノ廿五
四季咲木犀ノ説　四十ノ六

ヒ

ヒノ部

ヒロハモク　三十七ノ八
琵琶湖鱒　三十五ノ三十七
ヒトモトスヽキノ説　十九ノ十三
ヒキノキ　二十二ノ十八
ヒルモ　三ノ三十七
ヒヨンノキ　三十七ノ七十
ヒナハギ　三十五ノ十二
ヒナンサウノ説　十八ノ十三
平野栄質問植物名　二十二ノ二十二

平野栄ヨリ植物質問ノ答　十九ノ四
ヒムロノ説　十九ノ十四
日向産雲斑竹由来書　十ノ三十三
百合鳫真目録　三十ノ三十
稗ノ説　十九ノ二十八
ヒメイチゲサウ　三十七ノ七十二
ヒメナヘ　三十七ノ三十四
ヒメシヤクナギ　三十七ノ六十
ヒメビシ　三ノ三十六

ヒシ　三ノ三十五
ヒジュツシウセイシヨ
秘術聚成書　二ノ十五
ヒジキ　四ノ三十三
ヒジキ　三十七ノ七
ヒメビシ　三ノ四十
ヒモサボテン説　十ノ三
ヒセキセツケンセイハウ
砒石鹸製方　二ノ十四
琵琶湖魚類　廿九ノ廿
平升臣親青森縣産品献納　三十ノ一
砒石鹸製法　三十一ノ五ウ
筆頭菜新製松ノ翠　三十一ノ三十一
肥料用砂土　三十一ノ十五
ヒウオ　卅二ノ廿一
ヒヤクバナ　卅三ノ十六
平臣親融鐘物名　卅三ノ四十八甲
備前徃来　卅六ノ十
枇杷苗ノ記　卅六ノ廿三
ビナンカヅラノ説　四十ノ十九
ヒロキ之皮　四十ノ廿一
肥後国山鹿郡岩野村産揺实　四十ノ廿七
菱ノ説拔萃　四十ノ七十五
白檀香　四十一ノ五十三

モノ部

モツク 四ノ三十四
木耳ノ説 十六ノ四十三
毛茸アル叩頭蟲 三十一ノ五十四
木綿 二ノ七
モミノルイ 三十二ノ四
モミホ 四ノ三十五
籾糠ノ効用ノ質問 廿八ノ廿八
毛毳毹ノ毛革ヲ起ス刺毬ノ説 廿九ノ廿五
石綿ノ功用 卅三ノ四十八九
モガシノ説 四十ノ廿三
樅ニ生スル菌類ノ説 四十ノ七十七
蝨蟲ノ事ニ付新聞抜萃 四十一ノ廿九

セ

セノ部

錫蘭島木材目録　九ノ十一
省藤　十一ノ三
井中ノ泥金銀　三十一ノ三
西洋行種子目録　十八ノ三十八
鮭卵採集説
生物總論　二ノ一
清國物品採集録　二十四ノ一
蜻蜓ノ蚊ヲ食フ説　二十五ノ二十三
日耳曼製乾菓ノ説　十八ノ十九
茜根ノ説　十六ノ二
茜根之譯説　十三ノ四
茜染ノ事　二十ノ二十六
石乳　二ノ十
石膏ノ効用　十八ノ十五
石膏粉製造并功用ノ説　十八ノ十五
石炭　二ノ十一
石脳油之効用抜萃　十二ノ六
石脳油　十一ノ一

石花石膏ノ説	十六ノ十六
閼澤明清養魚ノ建白寫	十四ノ十四
石綿問合ノ答	十八ノ二
石耳	十八ノ十五
石耳	二十ノ四十五
赤色水亀	二十一ノ三十九
清国種長茄并絲瓜	廿八ノ廿三
ゼンマイ織ノ説 甲	廿九ノ十
同 乙	廿九ノ十一
紫萁綿ノ説	三十ノ廿五
潜龍藻	三十一ノ十一
赤蕪菁	三十一ノ三十三
製墨用阿膠ノ字形	卅六ノ十五
製衣龍草木概論	卅七ノ二十
石決明ノ記	卅九ノ八

ス

スノ部

スイサウ并カイサウ	四ノ一
水芹菜	二十ノ二十九
水綿ノ説	二十ノ三十六
水綿ノ説	二十二ノ三十二
水生ノ植物四種 一種苔跡㊀ 三種同㊂	
スギナス	二十五ノ四十五
駿河狩野川ノ鯉	三十一ノ五十三
スカシ	二十七ノ二十八
スッポンノカヾミ	三ノ三十八
駿河産島山茶ノ説	十一ノ二十八
瑞典蕪菁ノ説	十八ノ十四
スケユリ	二十七ノ百十六
スブタ	三ノ三十九
スモトリバナ	二十七ノ五十
スモヽ	二十七ノ五十四
スベヽビ	二十一ノ十六
水蜜桃傳来	二十八ノ二

東京大学総合図書館

水蠹材 ハナムシ ハリムシ 廿八ノ四十九
水善寺菜 廿九ノ十四
スナメリ 丗二ノ一
スグリ 丗三ノ四十三
水瓜及水蜜桃ノ記 卌六ノ卌八
水牛角ノ説 丗九ノ一
燧石 三十一ノ二十二
水芊 三十一ノ四十四
スミヤキダヘ 丗二ノ廿四

東京大学総合図書館